

クビアカツヤカミキリ農業被害防止緊急対策事業費補助金に関するQ & A

260804現在

No.	質問	回答
1-1	今回 県が薬剤補助をしていただけると聞いたのですが。	クビアカツヤカミキリ防除のため、7月15日～8月20日に購入・散布した農薬について、2回分まで購入費を補助します。申請方法はホームページをご確認ください。ご不明な点がございましたら、JA組合員はJAへ、それ以外の方は農務事務所へお問い合わせください。 https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/kubiakahojokin.html
1-2	出荷販売はしていないが補助の対象となりますか。	対象樹種を栽培している農業者であれば対象です。
1-3	ネットショッピングで購入した農薬は対象になりますか。	対象です。申請時に領収書など購入が確認できる書類を提出してください。
1-4	農薬の指定はありますか。	クビアカツヤカミキリに登録のある農薬が対象です。対象農薬は農業技術課ホームページをご確認ください。
1-5	展着剤は対象になりますか。	対象外です。
1-6	補助の対象となる樹種は何ですか。	モモ、スモモ、オウトウ、ネクタリン、ウメが対象となります。
1-7	1つの圃場にモモとブドウがありますが、面積は按分しますか。	ブドウは対象外です。モモの栽培面積のみ申請してください。
1-8	農薬を3回散布したいが、補助の対象になりますか。	補助対象は延べ2回分までです。
1-9	1回目の農薬防除は、7月15日以前に購入した農薬を使いましたが、補助対象になりますか。	7月15日より前に購入した農薬は対象外です。ただし、7月15日～8月20日に新たに購入した農薬は2回分まで対象となります。
1-10	薬剤防除の時期は決まっていますか。	7月15日～8月20日に実施した防除が対象です。農薬も同期間内に購入したものに限りません。
1-11	防除にあたり、販売している農薬の容量の半分しか必要ありませんが、補助も半分になってしまいますか。また、補助面積に下限はありますか。	補助額は、実際の使用量と補助上限量を比べて少ない方で計算します。面積の下限はありません。
1-12	来年度も補助はありますか。	来年度については未定です。
2-1	虫の生態を教えてください。	成虫は木に産卵し、幼虫は木の中で約2年間育ちます。その後、6月頃から成虫となって出てきます。繁殖力が非常に強く、被害は毎年拡大します。
2-2	畑で成虫（もしくはフラス）らしきものをみかけたのですがどうしたらよいか。	成虫を見つけた場合は、その場で駆除してください。フラスを見つけた場合や判断に迷う場合は、農務事務所へご連絡ください。
2-3	クビアカツヤカミキリらしき虫を見つけたが、生きたまま持ち帰ってもよいでしょうか？	持ち帰らないでください。クビアカツヤカミキリは特定外来生物のため、生きたまま運搬や飼育をすることは法律で禁止されています。